

全学入学前教育プログラム 平成 25 年度 明星大学「入学前教育プログラム」実施報告

太田 昌宏*

1. はじめに

明星大学が年内入試の入学予定者を対象とする「入学前教育プログラム」を実施する目的は以下の3点である。

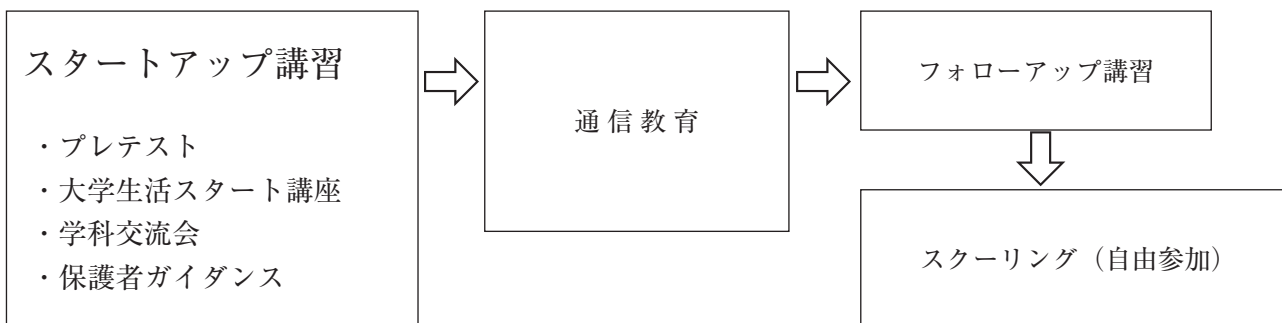
- (1) 大学生活への夢を膨らませる
- (2) 学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を向上させる
- (3) 学び続けることの重要性を認識させる

明星教育センターは、上記の目的を達成するため、「入学前教育プログラム」の中核となる「スタートアップ講習」を3日間、実施した。ここでは、平成25年11月17日・12月15日・12月22日に実施した3回の「スタートアップ講習」の実施結果について報告する。

2. 明星大学のサポート体制

明星大学における全学での「入学前教育プログラム」は、「スタートアップ講習（プレテスト・大学生活スタート講座・学科交流会・保護者ガイダンス）」、「通信教育」、「フォローアップ講習」、「スクーリング」という4つのサポート体制で構成されている。このサポート体制の全体像を図解すると次のようになる。[図1]

図1



「スタートアップ講習」に参加した入学予定者には、上記の四つサポート体制について説明すると共に、プレテスト・大学生活スタート講座・学科交流会を1日で体験することを伝えた。

今年度、3回に渡って実施したスタートアップ講習の日程と対象者は以下の通り。[表1]

* 教育学部 特任准教授 明星教育センター

表1 「入学前教育プログラム」対象者

| 回数 | 日程 | 対象者 |
|----|----------------|--|
| 1 | 平成25年11月17日(日) | AO入試9月・10月合格者 |
| 2 | 平成25年12月15日(日) | 指定校推薦入試／公募制推薦入試／明星高校特別選抜入試／卒業生子女特別選抜入試／スポーツ・文化活動特別推薦入試の合格者 |
| 3 | 平成25年12月22日(日) | AO入試12月合格者 |

3. 「プレテスト・大学生活スタート講座・学科交流会」の内容

午前中に「プレテスト」、午後に「大学生活スタート講座」と「学科交流会」を実施した。それぞれの時間配分と内容は次の通り。[表2]

表2 「プレテスト・大学生活スタート講座・学科交流会」1日の流れ

| 時間 | 時間配分 | 内容 |
|-------------|------|-------------------------|
| 10:00～10:15 | 15分 | プレテスト・入学前教育プログラムについての説明 |
| 10:20～11:20 | 60分 | プレテスト(英語・国語) |
| 11:30～12:00 | 30分 | プレテスト(数的処理+理系数学) |
| 12:00～12:50 | 50分 | 昼休み |
| 12:50～14:20 | 90分 | 大学生活スタート講座 |
| 14:30～16:00 | 90分 | 学科交流会 |

(1) 「プレテスト」

前日に、「入学前教育プログラム」で使用する「ガイドブック・アンケート用紙2種類・キャンパスマップと教室割表(両面)の別紙」という4種類の資料を入れた封筒を、受験番号のついた机に置いて準備した。

当日は10時から事前説明を開始し、ガイドブック1ページの「今日(スタートアップ講習)の予定」を示しながら、「プレテスト」、「大学生活スタート講座」、「学科交流会」の内容と目的について説明した。「プレテスト」は、10時20分から12時までの1時間40分の中で3教科の試験を実施した。

(2) 大学生活スタート講座

以下の予定表に沿って、グループ学習の形式で授業を進めた。[表3]

表3 大学生活スタート講座の流れ

| 時間 | 所要 | 内容 | 実施方法 |
|-------|-----|--------------|---|
| 12:50 | 10分 | 導入グループ作り | ・グループワークの実施を伝えてグループ作りをする。 ・ガイドブック3-4ページを説明する。「このスタートアップ講座では大学生活をイメージして、入学までにやっておくことを考える」、「学科交流会では学科別の説明がある」と伝える。 |
| 13:00 | 10分 | 自己紹介 | ・自己紹介シートの説明をする。 ・個人で記入させた後、グループ内発表で共有させる。 |
| 13:10 | 12分 | 大学生活をイメージしよう | ・自己紹介で決めた1番の発表者に手を挙げさせ、グループの位置を配付者に伝えてもらう。 ・各グループにインタビューシート1枚を配付し、進め方を説明する。 |

| | | | |
|-------|-----|----------------------------------|--|
| 13：22 | 13分 | 「大学生準備度」を チェックしよう | <ul style="list-style-type: none"> ・大学生準備度のチェックリストと、そのリストの内容に関連した質問への回答を記入させる。 ・グループで共有させる。 ・入学までに注意する点を意識させる。 |
| 13：35 | | | |
| 13：35 | 20分 | 通信教育ガイダンス (担当：(株)四谷ゼミ ナール) | <ul style="list-style-type: none"> ・メモをとりながら聴くように指示する。 ・四谷ゼミナール担当者と交替する。 ・通信教育の意義、大学入学までに必要な学習内容について話してもらう。 ・担当教員が、ガイドブック 24 ページを説明する。 |
| 13：55 | | | |
| 13：55 | 13分 | 校歌を 歌えるようにしよう | <ul style="list-style-type: none"> ・つなぎの言葉として「入学式のととき校歌があるので」と説明する。 ・簡単な歌い方の説明後、CD に合わせた合唱部の歌を聞く。新入生全員を起立させる。2 回目の CD に合わせて新入生も歌うように指示する。 |
| 14：08 | | | |
| 14：08 | 7分 | 振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ・講座の振り返りを書くように指示する。グループで共有させる。 |
| 14：15 | | | |

各項目の授業内容について、以下、説明する。

① 導入

欠席者による空席があった場合、4 人一組のグループをつくるため、12 時 50 分より前に、学生スタッフが入学予定者に座席移動を依頼しグループ分けを行う。講座開始時、入学予定者に、グループ学習のため 4 人一組のグループを作ったことを伝える。ガイドブックの該当ページを示しながら、「大学生活スタート講座」を実施する目的を説明し、明星大学入学までに何をしておくといいのかについて考え、グループで話し合うという講座の方向性を示した。

② 自己紹介シート（アイスブレイク）

ガイドブックの「自己紹介シート」で、4 つの質問に対する各自の答えを考えさせた。各自がシートに書きこんだところで、時計回りで順番に発表させた。入学予定者はグループワークの経験が少ないと推測されるため、最初に発表する人についても教員が指示した。

③ 大学生活をイメージしよう

12 問の質問を記載した「インタビューシート」（A3 用紙）をグループに 1 枚配付し、進め方を説明した。全員が質問者になり、解答者にもなるこの演習の目的は、グループメンバー全員で交流することである。演習の説明は学生スタッフによる実演で行った。教員が合図するまでグループ内で何周回ってもよいという指示を出したので、会話がはずんだグループも多かった。

④ 「大学生準備度」をチェックする／「明星大生になるまでに」を考える

「大学生準備度」を入学予定者が把握するための「チェックリスト」を使った演習を行った。この演習の目的は、入学予定者が入学後の大学生活をイメージすること、及び現在の生活を振り返って自分を客観視させることである。

「チェックリスト」は「はい」か「いいえ」で答える 12 の質問からなる。質問の内容は、「生活習慣」、「コミュニケーション」、「学習習慣」、「大学生活への理解」という 4 種類に分けて構成した。さらに考えを深めさせるため「チェックリスト」の解答後に答える質問を 3 問用意した。「明星大学になるまでに」というプリントを配布し、「チェックリスト」がどのような主旨で作成されているかを説明した後、現在の生活全般を今一度見返してしてほしいと話した。

⑤ 通信教育ガイダンス

「通信教育」担当の四谷ゼミナールの教員が、「通信教育」の取り組み方に関する説明を行った。「通信教育」では、参考書や辞書を使って調べたり、高校の先生に質問したりして問題を解いてもよいことなどを説明した。

⑥「明星大学校歌」を聞く

入学予定者の多くが、初めて聞く曲を歌う難しさを緩和するねらいで、まず1回目として、CDで校歌の演奏を流しながら合唱部の学生たちが歌った。合唱部のリーダーが、入学予定者に対して、歌い方のワンポイント・アドバイスをした後、2回目は、入学予定者にも起立してもらい、学生スタッフを含め全員で校歌を歌った。

⑦ 振り返り

最後に、大学生生活スタート講座を受講して気づいたこと、感じたことなどを「振り返り」として入学予定者に書かせた。その後、再び、グループ内で各自が書いたことを発表し、意見を交流させてまとめた。

(3) 学科交流会

大学生生活スタート講座の終了後、入学予定者を各学部・学科別の教室に誘導し、各学科の担当教員による授業やその説明を行った。交流会の時間は学部学科によって異なるが、概ね45～90分の間で実施した。学科交流会を別の日程で実施予定の3学科「福祉実践学科」、「人間社会学科」、「心理学科」、及び平成25年度は学科交流会を行わない「教育学科」については、明星教育センターの教員が担当した。以下、明星教育センターの教員が担当した学科交流会の内容を以下に示す。[表4]

表4 学科交流会の流れ

| 時間 | 所要 | 内容 | 方法 |
|----------------|-----|----------------------------|--|
| 14:30 14:35 | 5分 | 全体説明 | 今後は各学科からの連絡を待ち、それに従うことを説明する(学科交流会を実施しない教育学科を除く)。 |
| 14:35 14:50 | 15分 | 在学生のスピーチ (2名～3名) | 在学生(2～3人)がスピーチを担当し、自分の大学生生活の体験談や入学予定者へのアドバイスなどを話す。 |
| 14:50 15:10 | 20分 | 質疑応答 | 在学生のスピーチの内容について、入学予定者から質問してもらい、その質問に在学生から答えてもらう。 |
| 15:10 15:25 | 15分 | 「入学前教育プログラム」 アンケート(2種類) | アンケートを実施。時間を10～15分程度とり、最初に「スタートアップ講習」に対する意見、感想を200字でしっかり書くように指示する。 |

4. 「入学前教育プログラム」入学予定者の参加状況

全体を平均すると、9割近い出席率となり、入学予定者にとっての大学生活への関心が高いことが読みとれる。[表5]

表5 当日出席者 参加率

| 回数 | 日程 | 対象者 | 当日の出席者 | 参加率 |
|----|----------------|------|--------|-------|
| 1 | 平成25年11月17日(日) | 315名 | 290名 | 92.1% |
| 2 | 平成25年12月15日(日) | 529名 | 480名 | 90.7% |
| 3 | 平成25年12月22日(日) | 91名 | 62名 | 68.1% |
| | 合計 | 935名 | 832名 | 89.0% |

5. 入学予定者へのアンケート状況

授業アンケートは、スタートアップ講習の受講者に対し11月17日、12月15日、12月22日の3回行った。

具体的な感想としては、「スタートアップ講習を受ける前は友達のこととか授業のこととかすごく不安でいっぱいだったんですが、受けたことで大学生活というものがあると分かったような気がして少し不安がなくなりました」、「プレテストで自身の学力が知れて、今後どのような点に勉強に力を入れれば良いかがわかった。学科交流会では、先輩からのアドバイスが聞くことが出来て、自分の大学生活に生かしたいと思った。与えられた課題をきちんとこなし、大学に入学するまでに自分の得意な事、苦手な事を共に底上げしたいと思う」などの記述があった。

このことから、入学予定者の不安と取り除き、大学生活に対して前向きな姿勢をつくる、と言う点で、今回の講座は一定の効果をあげられたと思われる。

6. 昨年度との変更点と今後の課題

昨年度と大きく変更した点は、プレテストである。平成 24 年度、国語と英語のテストは全学部・全学科の入学予定者を対象に実施したが、数学のテストは 4 学科（国際コミュニケーション学科・日本文化学科・福祉実践学科・造形芸術学科）の入学予定者には実施しなかった。これに対し、平成 25 年度は大枠として、文系の学部・学科は「数的処理」、理系の学部・学科は「理系数学」という形で、すべての学部・学科で数学に関するテストを実施した。その理由として大きかったのは、①数学的なものの考え方、捉え方はどの学問分野にも必要と考えられるため、②大学生活後半の就職活動においても数学の能力は入社試験で試されることが多いという社会的状況に対応するため、の二点である。

大学生活スタート講座については、安定的に実施できる形式と内容になったとの見方もできるが、改善できる余地はまだまだあると思われる。今後、さらなる検討を加えたい。

以上